

四国・水こぼれ話

Water Information Saloon Shikoku

談話室 Vol. 31

吉野川市における水に関する話題

徳島県 吉野川市長

かわまた てつや
川真田 哲哉



1.はじめに

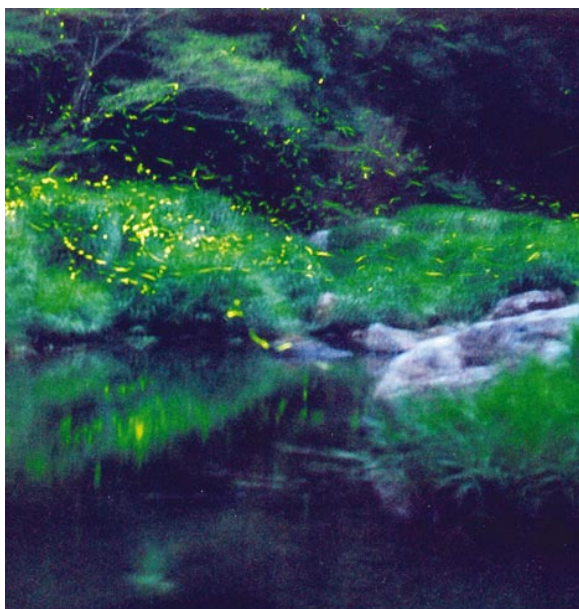
吉野川市美郷は、徳島県の中央に位置し、清流と緑豊かな自然環境に恵まれた山間地帯です。川田川と東山谷川の流れに寄り添うように集落が点在し、急峻な斜面に階段状に耕地が拓けており、ゲンジボタルの生息地としても有名です。5月中旬から6月中旬にかけて、川沿いでは、ゲンジボタルの幻想的な光が見られ、多くの観光客で賑わいます。

2.みんなで守る豊かな自然(水)とホタル

美郷地区では、現在5種類のホタルが確認されています。ホタルの種類は日本産だけでも約40種類あるといわれておりそのほとんどが陸生なのに、ゲンジボタルは幼虫時代を水生で過ごす珍しい種類です。ホタルの生息条件は、ホタルの幼虫の餌となる巻き貝の一種の「川蝸」が多く生息しているところで、そのためには、きれいで豊かな水量が

必要だといわれております。また、ホタルの成虫は平均3日間の寿命だともいわれており、その間、水しか口にしないという、まさに“清流の精”とも呼べるのではないのでしょうか。

昭和45年に美郷地区全域が「美郷のホタルおよびその発生地」として、国の天然記念物に指定されました。その背景には、地元小学校生徒による「ホタル研究クラブ」や住民による「ホタル愛護の会」などの地道な活動がありましたが、人々の生活形態や社会の変化によりホタルの生息環境も変わりつつあります。美郷のホタルも昔に比べると数は減りましたが、今もなお、ほたるの生息環境が失われていないことは、私たちにとっての誇りでもあります。いつまでもきれいな水を残して、この幻想的な自然の姿を子供たちに見せてやれるのは我々の役目ではないのでしょうか。



ゲンジボタルが乱舞する川田川



ボランティアによる植林体験（広葉樹（けやき、さくら）の植林）



ボランティア団体による川田川清掃